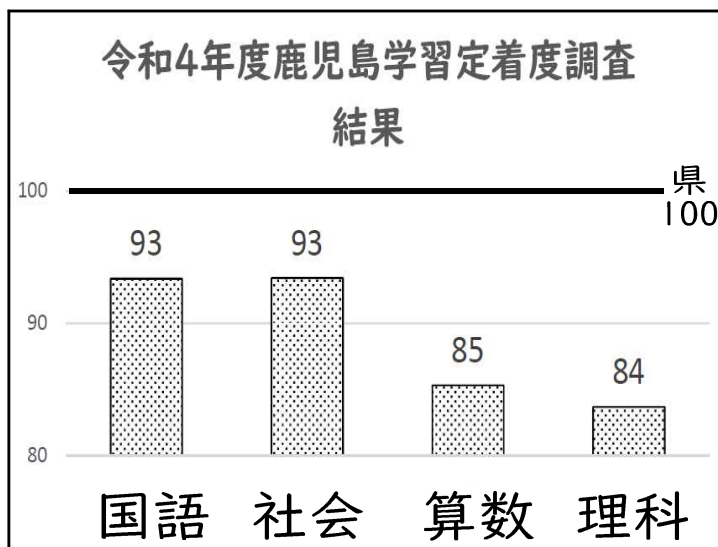


令和4年度鹿児島学習定着度調査結果

令和5年2月21日
鹿児島市立玉江小学校

令和5年1月に5年生を対象に実施した「鹿児島学習定着度調査」の結果をお知らせします。本調査は、5年生までの「基礎・基本」「思考・表現」学習内容について、その定着度を調査したものです。

本校の平均正答率は、4教科において県の平均正答率を下まわる結果でした。特に、課題に対する自分の考えや語句の説明、解き方や実験の結果を文章で表現する問題で無答（空欄のまま）や通過率が著しく低く、書く力に課題があることが分かりました。これは5年生にだけに限ったことではなく、全学年に共通する課題として、早速、全職員で確認後、全学級で書く力を高めるための取組を始めています。



【県の平均正答率を100としたときの本校の平均正答率】

以下に本校の課題に対する改善策をお示ししました。学校では、今回の結果を重く受け止め、現在求められている自分の考えを相手に分かりやすく表現する力を中心に、基礎的・基本的な内容の理解も含めて、児童に力の付く授業が展開できるよう努めています。

各学級での学習指導等の取組も含めて、一緒になって現状を変える取組を推進していきたいと考えていますので、どうぞ御協力をよろしくお願いします。

【本校の課題に対する改善策】

《国語》

長文の文章やグラフ、表を用いた資料から、必要な情報を読み取り、目的に沿って簡潔にまとめたり、自分の意見を書いたりすること等について課題が残りました。キーワードに線を引いて必要な事項を読み取ったり、主述や言葉を意識して書かせたりして、的確に読んだり書いたりする力を身に付けさせていきます。高学年に向かうにつれて、字数制限や条件が示された中でも自分の考えを書けるように力を付けていきます。

《社会》

雨温図から気候の特色を説明したり、食料自給率を高めるための取組について消費者の立場から説明したりする問題等について課題が残りました。問題に対して、地図、グラフ、写真、表など複数の資料を関連付けて自分の考えを書く活動を積極的に取り入れます。

《算数》

示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題等に課題が残りました。少人数指導、習熟度別指導での対応や、図や考え方の過程を明らかにしたノートを取り方指導等を通して課題の解決を図ります。答えを導くだけでなく、なぜそうなるのか理由を述べたり、相手に分かるように解き方を説明したり（書いたり）する取組に力を入れていきます。

《理科》

花のつくりや受粉、実験結果をもとに、水温と水に溶ける量とを関係付けて説明する問題等に課題が残りました。問題解決の授業を進めるなかで、予想や実験の計画・考察などを主体的に考え、交流していく場面を設定し、十分に思考させるようにしていきます。また、事象を説明する（書く）際、正しく伝わる説明（記述）をさせていきます。